

令和6年度研修主題

「主体的に学び、豊かに表現できる生徒の育成」—教科の魅力を伝える指導の工夫を通して—

学力向上委員会全体会 (6月3日) 『ねらいを達成した具体的な姿を考える』

本校研修主題を、全職員で共有し、各々の研修の見直しを持つことを目的として、グループ別に話し合いを実施しました。テーマは、『伊勢崎学校教育構想の実現にむけて』より「ねらいを達成した具体的な姿を想定すること」としました。また、「その姿にせまる手立て」も同様に考え、ジャムポートを活用して意見交流を行いました。文系、理数系、実技系の3グループを編制し、より活発な意見交流を目指しました。



生徒のねらいを達成した具体的な姿	その姿にせまる手立て
資料をもとに自分の考えを筋道立ててまとめている姿 (社会)	本時のねらいに沿って、生徒の様々な意見が出せるような資料提示を行い、考える時間を確保する。
文章から読み取ったことを元に、根拠をもって自分の考えをまとめている (国語)	根拠となる情報が、文章中のどこにあったかを必ず確認するようにする。
目的、場面、状況に適切な内容で、アイコンタクトや声の大きさ、発音、スピードなどに気をつけながら、発表をしている。発表をただ聞くのではなく、リアクションをしたり、質問をしたりしている。(英語)	授業の中で、今日は「発音」を意識して練習する、今日は「スピード」を意識するなど、自己決定させて練習する。発表が近づいてきたら、ペアやグループで発表して、聞き手の練習をする。
還元の実験において、酸化物から酸素をうばった物質は、酸化されることを自分の言葉で説明することができる。また、炭素以外でも還元できるのではないかと予想することができる。(理科)	①モデルで考えさせる。②酸素と結びつく物質は何か考えさせる。③既習事項である酸化について想起させる。
正負の数の除法は、乗法と同様のルールで計算できることを理解するために、いくつかの除法の式と答えから、その関係を考えている。(数学)	いくつかの除法の式から、符号と絶対値の関係について考えるよう促す。
テーマを決めて、テーマに合った曲を自分で作る (音楽)	自分が作った音楽をタブレットで自動演奏させ、聴いて、自分のテーマに合うように試行錯誤しながら修正・完成させていく。
動作のポイントを意識して、何度も繰り返し練習に取り組んだり、仲間に動作を観察してもらいアドバイスを求めたりしている。(保健体育)	動作のポイントを生徒から引き出し、生徒の言葉を使って示すようにする。

話し合いより

振り返りより

他の教科の先生の主体的な態度の見取り方は、自分の教科にも共通するものがあつた。自分の授業や評価の付け方において、参考にしたい。楽しかつた。

「試行錯誤をしながら・・・」という部分は、自分の教科だけでなく他の教科にも共通する部分だと思ひました。できるだけ生徒が「試行錯誤しながら」目標に達成できるような環境を用意していきたいと思ひました。

他教科の先生方とディスカッションする機会が少ないので、今回大変勉強になつた。教科は異なつていても、共通していることがあつたり新たな視点を得られたりすることが実感できた。

他教科の手立てや、生徒のねらいを達成した姿を聞き、自分の教科にも繋がるものがたくさんあつた。日々の授業でも一時間一時間、めあてやねらいを達成した姿を思ひ描いて、授業を行おうと改めて思つた。

数学の先生がおっしゃつていた「合い言葉」や「型」にはめるといふのは、理科の公式を用いた計算にも使えると思つた。小学校で算数を教えていたときはよく「合い言葉」をきめて発声しながら授業を進めていたので、中学校でも同じような手立てが使えるのでは、気づくことができた。2学期には力の単元に入り、公式を用いた計算がたくさんあるので、今回の気づきを活かしていきたい。

主体的な学びを促すには、前時との関連について考えさせる問題を用いることがどの教科でも重要であると改めて感じた。また、改めてねらいと振り返りがリンクするよう授業作りを進めていきたいと思つた。

国語の授業でも同様で、自分の考えをよりよいものにしていく過程で意見交換や話し合い活動は大事だと思つた。班活動でなくても、「近所の人と話してもいいよ」をもつと授業中に取り入れてもいいかなと思つた。いや、取り入れていこう。

どの教科も基礎学力を伸ばすために小テストなどで工夫していることがわかつた。しかし教師の頑張りとは裏腹に生徒は小テストへの取り組みはいまいちなもわかつた。今後も教科の魅力を授業を通して伝えていき、生徒が自分から学習をするようないい循環ができるようにしていけたらいいと思ふ。

他教科のめざす姿や手立てを共有して、自分の教科でも活かせる手立てがあるな、と感じました。国語、社会では「根拠をもつ」ことを大事にしていることがわかつたり、社会では桃鉄を使って、興味・関心を高めていたりするなど、おもしろいなと思ひました。タブレットの活用も、他教科でどのように使っているか知らなかつたので、知ることができてよかつたです。

今まで、抽象的に生徒の姿を考えていたが、具体的に考えることによって、指導目標が少し明確になつてきたように思ひました。具体的に他教科の目指す具体的な生徒の姿や手立ての中に、自分の教科に活かせるものがあり、今後の指導に活かしていきたいと思ひました。またこのような形で違う教科の人とも交流できると良いと思ひました。